

新 林業労働災害レスキュー体制構築事業

当初

山村・木材振興課 3,806千円
【財源：林業担い手対策基金】

事業の目的

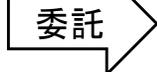
労働災害の発生率が高い林業において、災害発生後の通報・レスキュー訓練の実施及び対応マニュアルの作成により、林業事業体の安全意識の醸成を図るとともに、死亡及び重篤な健康被害の減少を目指す。

事業の概要

(1) 事業内容

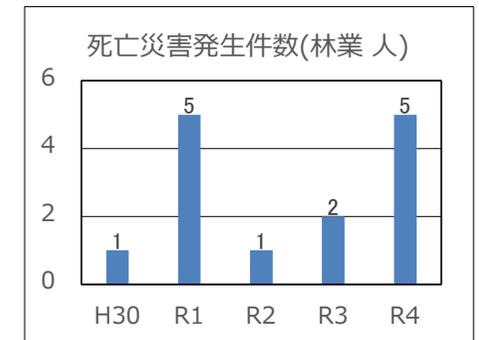
- ① 林業労働災害レスキュー訓練事業 1,878千円
通報・応急処置・簡易担架の作成・防災救急ヘリコプター「あおぞら」による救出訓練等の実施
- ② 林業労働災害対応マニュアル作成事業 1,928千円
労働災害発生時の対応マニュアル（救助要請、応急処置等）の作成

(2) 事業の仕組み

- ① 県  林業関係者で構成される協議会等
- ② 県  民間事業者

(3) 成果指標

県内の死亡災害発生件数（林業）現状（令和4年）5件→令和8年 0件



出典：宮崎労働局

事業の期間

令和6年度～令和8年度